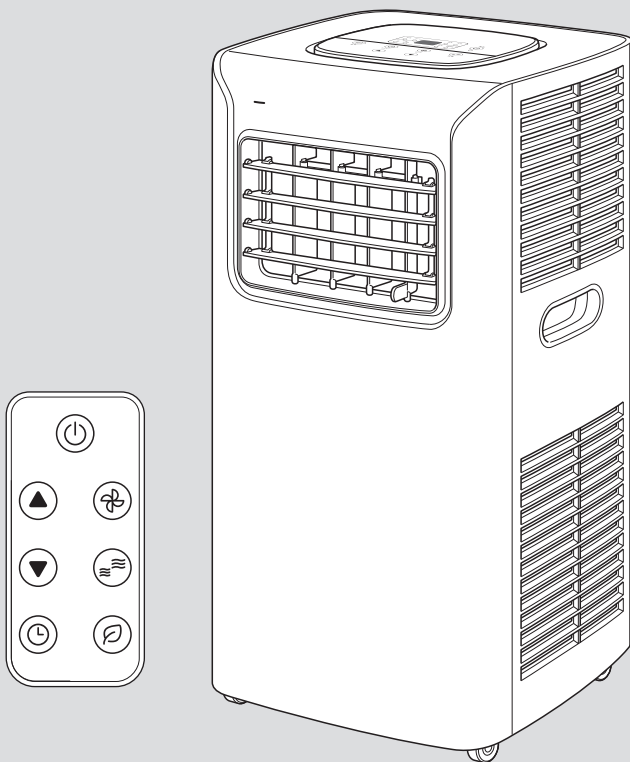


THREEUP

スポットエアクーラー

SC-T2317

取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

目次

はじめに

- 安全上のご注意…………… 1~3
- 各部のなまえ…………… 4~5
- パッケージ内容…………… 5
- 仕様…………… 5

ご使用の前に

- 知っておいていただきたいこと … 6
- 設置について…………… 6
- 運転前の準備…………… 7~8
- リモコンについて…………… 8

ご使用方法

- 運転する…………… 9
- 運転モードを切り替える … 9~11
- 停止する…………… 11
- 機能を設定する…………… 11~14
- 風向きを調節する…………… 15
- 排水する…………… 15

点検・修理

- お手入れと保管方法…………… 16~17
- 長期使用製品についての
ご注意…………… 17
- 製品の廃棄について…………… 17
- 故障かな?と思ったら…………… 18
- 保証・サービス…………… 裏表紙

はじめに

安全上のご注意

火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。
また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意 誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	---

■ 図記号の意味は次のとおりです。

   	この図記号は「禁止」されている内容です。	  	この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。
火災、感電、ケガの原因になります。
修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。修理が必要な場合は、スリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気が多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。
本体やリモコンを水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。
漏電、感電、火災、故障の原因になります。



禁止

お子様だけで使わせしないでください。
感電やケガ、事故の原因になります。
屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。
絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。
動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本体の変形によるショートや発火、冷媒配管やドレン配管の破損、冷媒が漏れる原因になります。

本体のすき間や可動部にピンや針金などの異物を入れないでください。
感電や故障の原因になります。



禁止

引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。
また、本体に向けて吹きかけないでください。
爆発や火災の原因になります。

風を長時間、直接身体にあてないでください。
特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方は注意してください。
健康を害する原因になります。

ストーブやガスコンロなどの燃焼器具に向けて送風しないでください。
火災ややけどの原因になります。

乳幼児の手の届くところにボタン電池を置かないでください。
ボタン電池を誤飲する原因になります。
万一、誤飲した場合はすぐに医師にご相談ください。

ボタン電池を火の中に入れてたり、水に濡らしたりしないでください。
また、分解や加熱をしないでください。
破裂や発熱の原因になります。

電源は必ず家庭用100V電源で使用してください。
異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。
ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



必ず守る

使用しない場合は、安全な場所に保管してください。

落下、衝撃、水濡れをする場所は避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。

警告

電源コードや電源プラグ、アース線を取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 電源コードや電源プラグ、アース線を乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだり、損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- コンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードや電源プラグ、アース線が破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。



必ず守る

ボタン電池を保管、廃棄する際は、電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼ってください。

- 複数のボタン電池が重なり合うと、一方のボタン電池が導線として働き、電極がショートして破裂や発熱を引き起こし、火災につながるおそれがあります。
- 廃棄する際は、お住いの市町村の指示に従って廃棄してください。
- ヘアピンやコインなどの導電物と一緒に保管したり、持ち運んだりしないでください。

包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。

誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。

長時間リモコンを使用しないときは、ボタン電池をリモコンから取り出してください。

- 消耗したボタン電池を入れたままにしておくと、液漏れや腐食により、リモコンが故障する原因になります。
- 液漏れを起こした場合は、液に触れないように注意し、すぐに電池を取り出してください。
- 漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。万一、液が目に入った場合はすぐに多量の水で洗い流し、医師にご相談ください。



必ず守る

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音がする。

その他異常と思われるときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。

漏電遮断器、アース線は必ず接続してください。

故障や漏電した場合、感電するおそれがあります。

《アース線の接続について》

- コンセントのアース端子に接続してください。
- 漏電遮断器、アース端子がない場合は、別途工事が必要になります。お買い上げの販売店に工事を依頼してください。電気工事は関連する法令・規定に基づき、必ず電気工事士の資格を持った方が行ってください。
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース、絶縁物などと接続しないでください。



アース線接続

注意



禁止

本機は家庭用です。業務用として使用しないでください。

故障の原因になります。



禁止

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

落下、転倒などにより、ケガや事故の原因になります。

注意

吸気フィルター(上)(下)を取り外した状態で運転しないでください。

本体内部にホコリがたまりモーターが過熱するなど、漏電や事故、故障の原因になります。

運転中は本体を移動させないでください。移動させる際は運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。故障や水漏れの原因になります。

製品の上に物を置いたり、踏み台にしたり、腰掛けたりしないでください。

転倒、破損によるケガや事故の原因になります。

押し入れや家具のすき間などの狭い場所に設置しないでください。

発熱、発火の原因になります。

送風口や吸気口、通気口、排気口をふさがないでください。

衣類やカーテンなどで送風口や吸気口、通気口、排気口がふさがれると、過熱による本体の変形、発火の原因になります。

薬品などの周囲では使用しないでください。本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などに雑音が入る原因になります。

食品・動植物・精密機器・美術品の保存や冷却などの特殊用途には使用しないでください。

- 保存品の品質低下等の原因になることがあります。
- 動植物に悪影響を及ぼすおそれがあります。

ボタン電池を素手で取り扱わないでください。

- 電極(+/-)を素手で同時に触ると、一気に放電して、消耗を早める原因になります。
- 汗や手油などが付着すると、接触不良の原因になります。

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

市販のエアコン洗浄スプレーは使用しないでください。

製品内部の破損や、排水経路のつまりの原因になります。

騒音に注意してください。

排気ホースから吹き出る風の音や、不安定な場所や設置した場合の振動音などにより騒音が発生する場合があります。近隣の迷惑にならないよう注意してご使用ください。

排気ホースは必ず取り付けてください。

閉め切った部屋で排気ホースを取り付けずに運転すると、排熱により室温が上昇する原因になります。

本機の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

- 「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。
- 長期間使用しない場合は内部の水を捨て、しっかりと乾かしてから保管ください。

運転停止から運転再開までは5分以上空けてください。

電源プラグを差し直した場合や、ブレーカーが落ちた場合も5分以上待ってから運転を開始してください。

すぐに運転を開始すると、圧縮機に負担がかかり故障の原因になります。

ボタン電池は電極(+/-)の向きに十分注意して装着してください。

正常に動作しない原因や、リモコンの故障の原因になります。

送風口や吸気口、通気口、排気口、可動部に指を入れないでください。

ケガの原因になります。

本体内部の熱交換器のアルミフィンに触らないでください。

ケガの原因になります。



禁止



禁止



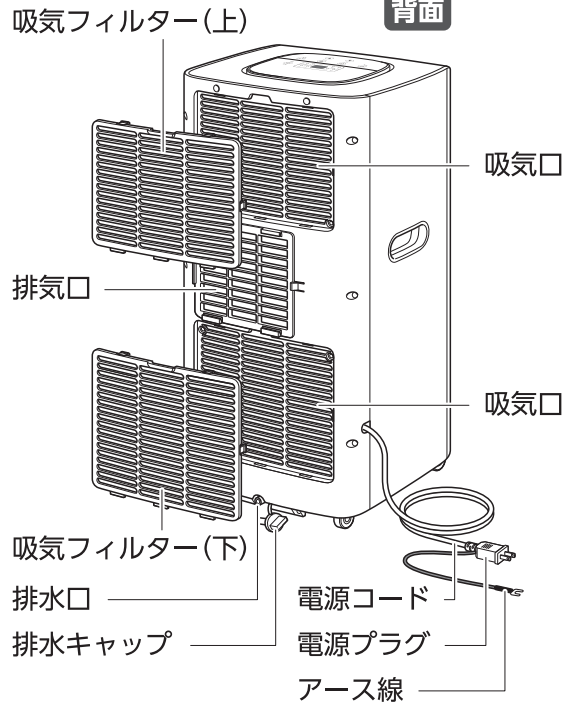
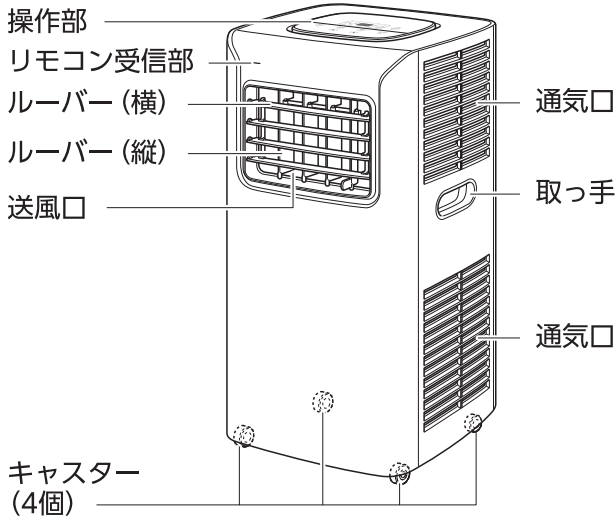
必ず守る



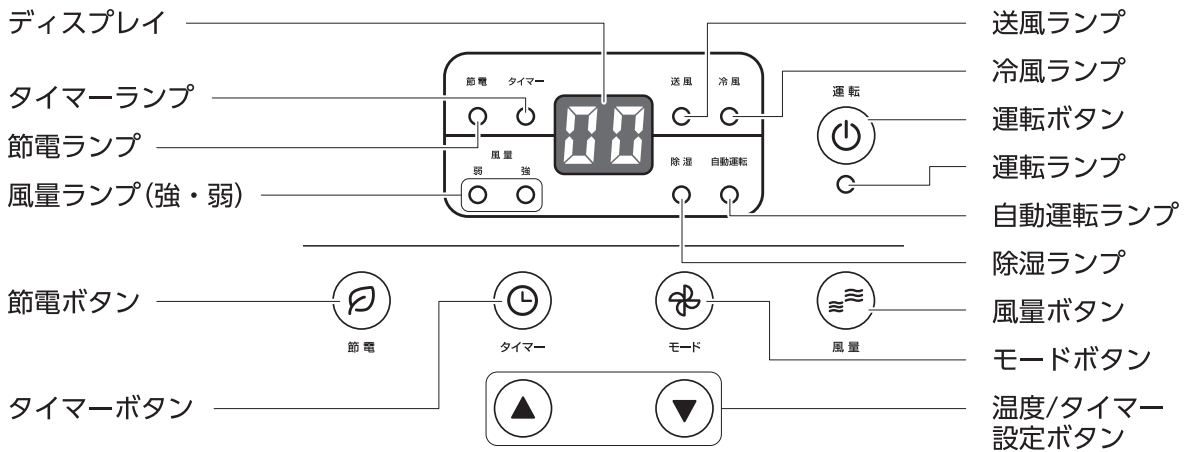
接触禁止

各部のなまえ

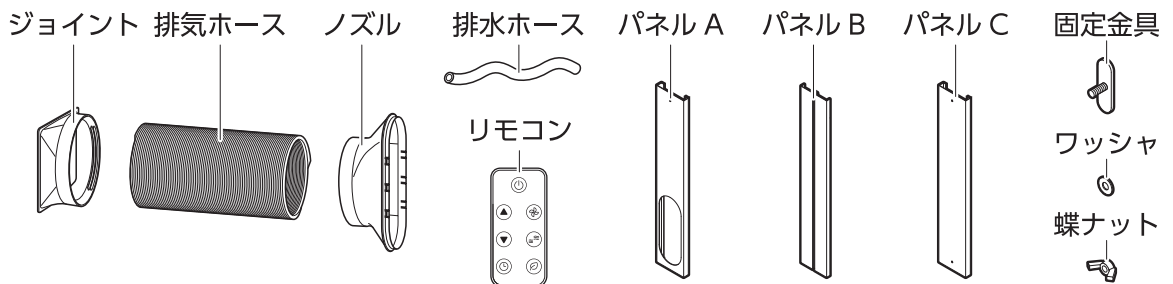
■ 本体



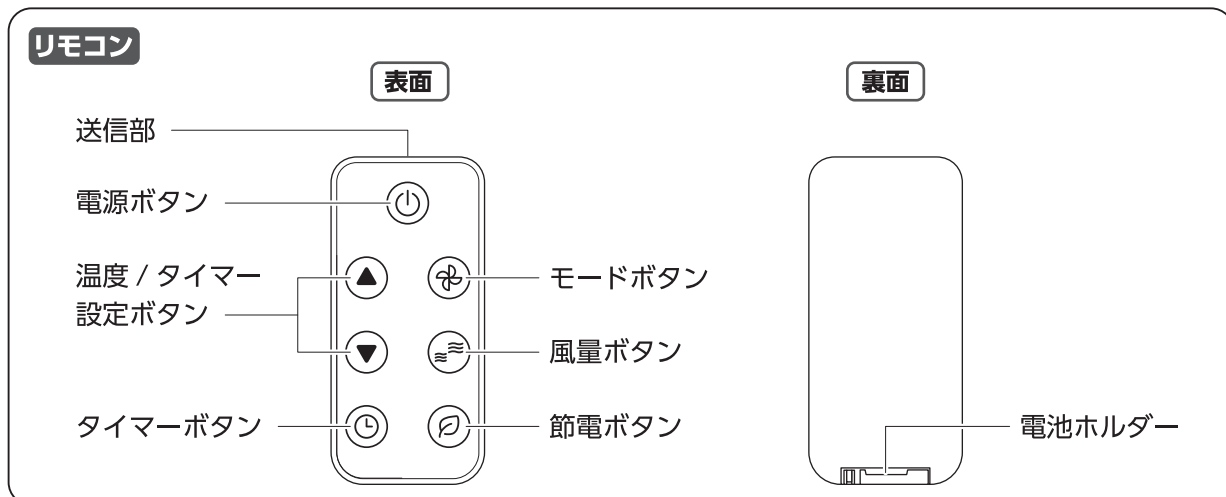
■ 操作部



■ 付属品



はじめに



パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部品名	個数	部品名	個数
本体	1	取扱説明書（保証書付き）本書	1
排気ホース	1	ノズル	1
ジョイント	1	パネル（A・B・C）	各1
排水ホース	1	リモコン（CR2025電池内蔵）	1
パネル固定用金具（固定金具・ワッシャ・蝶ナット）			各2

仕様

本体サイズ	幅31×奥行32×高さ63.5cm	本体重量	約20 kg
材質	ABS、アルミ	電源	AC100V 50/60Hz
冷房消費電力	50Hz/650W、60Hz/750W	1時間あたりの電気代	約23.25円(750W連続運転時)
運転電流	50Hz/7.8A、60Hz/8.0A	運転モード	自動運転、冷風、除湿、送風、節電（冷風モード時のみ）
風量	2段階切替（強/弱）	冷房能力	50Hz/1.7kW、60Hz/2.0kW
コード長	約1.8 m	オン・オフタイマー設定	1～24時間（1時間単位）
最大除湿能力	20 L / 日	運転音	約65dB（冷風モード 風量「強」）
自動保護機能	冷風モード自動停止	冷媒	R410A/260g
排水タンク容量	約1.2 L（満水時自動停止）	排気ホース	直径15.5×長さ25～165cm
排水ホース	直径0.9×長さ100cm	—	—

- ※ 商品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。
- ※ 使用する環境によって、送風口や排気口から出る風の温度は変化します。
- ※ 1時間あたりの電気代は、単価31円/kWh（税込）で計算した際の目安となります。

ご使用の前に

知っておいていただきたいこと

- **本製品は冷房機ではありません。**
スポット冷風機のため部屋全体を冷房することはできません。
- **運転可能な部屋の温度は16℃～42℃です。**
以下の環境になると自動保護機能が働き、送風モードに切り替わります。
※約3分後に正常運転に復帰できます。
◎冷風モード … 本体の周囲温度が43℃以上、または15℃以下
◎除湿モード … 本体の周囲温度が15℃以下
また、冷風モード時に冷却ユニットに霜が付いた場合は、霜が溶けたあとに正常運転に復帰できます。
- **本体の周囲温度について**
 - ・ディスプレイに表示される温度は本体に内蔵されている温度センサーが感知する製品の周囲温度となります。
 - ・設置場所によっては温度が正確に表示されない場合があります。

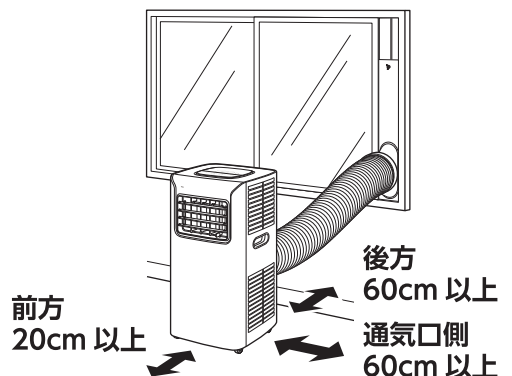
次のような現象は製品の異常や故障ではありません。

- **アルミフィンについて**
熱交換器に使用しているアルミフィンは、銅管の接続の際、熱により一部変色していますが、性能に影響はありません。
- **露(つゆ)について**
部屋の湿度が80%以上あるときに、長期間にわたって冷房運転を続けると、排気ホースの付近などに露が付き、落ちることがあります。
- **霧(きり)について**
冷房運転中に排気ホース付近から霧(煙)のようなものが見えることがあります。これは、吹き出した冷風で部屋の空気が冷やされて霧状に見えるためで、故障ではありません。
- **においについて**
部屋や芳香剤のにおい、化粧品、汗、タバコなどのにおいが本体に付着し、吹き出す風がにおうことがあります。
- **音について**
 - ・運転開始直後や停止後に「シュルシュル」という音や、運転中に水が流れるような音がすることがあります。これらの音は冷媒が流れる音です。
 - ・運転中に本体から「ピシッ」という小さな音がすることがありますが、これは本体が冷やされて収縮することにより発生する音です。
 - ・運転中に「シャワシャワ」という音がすることがありますが、これは本体内部でドレン水を蒸発処理している音です。
 - ・本機は圧縮機が稼働すると、「ビーン」という大きな音が鳴りますが故障ではありません。
- **圧縮機の動作について**
『電源』ボタンや『モード』ボタンを操作し、圧縮機が「ON」から「OFF」へ切り替わったあと、冷風モードなどに設定してもすぐに圧縮機が「ON」にならない場合があります。これは圧縮機保護のための機能です。圧縮機が再度「ON」になるまで約3分程お待ちください。※ご使用の環境によって時間は変化します。

設置について

- **水平で安定した場所に設置してください。**
不安定な場所で使用すると、転倒や振動音が発生したり、水が漏れたりする原因になります。
- **通気口と吸気口は、壁や障害物から60cm以上離してください。**
- **本製品の本体重量は約20kgです。重量に十分耐える場所に設置してください。**
畳の上や、やわらかいフローリングの上などの傷がついたり、設置の跡が残ったりする可能性がある場所には設置しないでください。

設置イメージ



ご使用の前に

運転前の準備

① 製品を取り出します。

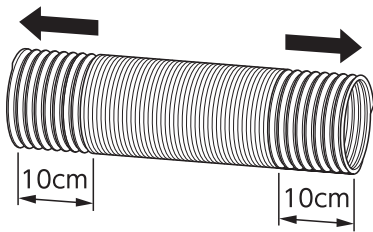
包装箱を開けて包装材と付属品を取り出します。
包装箱と包装材は保管の際にお使いください。

注意 本製品は重量が約20kgあるため、2人以上で取り出し、設置してください。

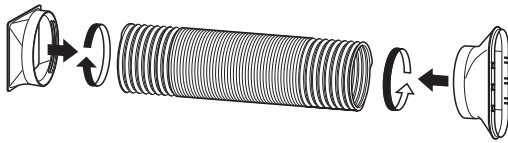
② 本体を設置します。

③ ノズルとジョイントを排気ホースに取り付けます。

a. 排気ホースの両端を10cm程度伸ばします。

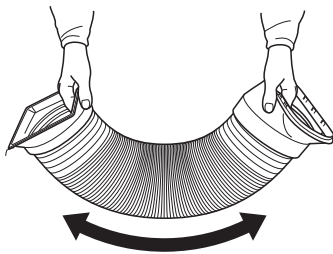


b. ノズルとジョイントを反時計回りに回して取り付けます。



④ 排気ホースを調節します。

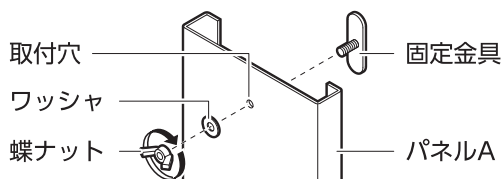
ノズルとジョイントを持ち、使用環境にあわせて排気ホースを曲げ伸ばします。



⑤ パネルを組み立てます。

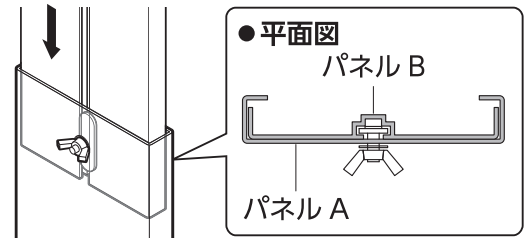
a. パネルAの取付穴に固定金具を差し込み、ワッシャを通して蝶ナットで仮止めをします。

注意 蝶ナットは止まるまで締め付けしないでください。



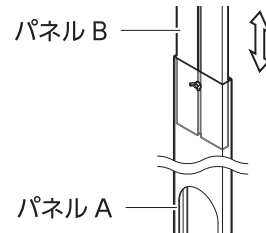
b. パネルAにパネルBを取り付けます。

固定金具を縦方向に向けて、パネルBの溝に差し込んでください。



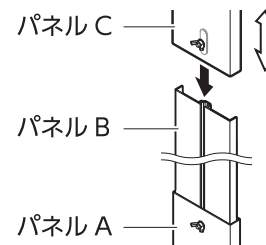
c. パネルを窓枠の高さにあわせませす。

パネルBを上下させて窓枠の高さにあわせ、蝶ナットを締め付けて固定してください。



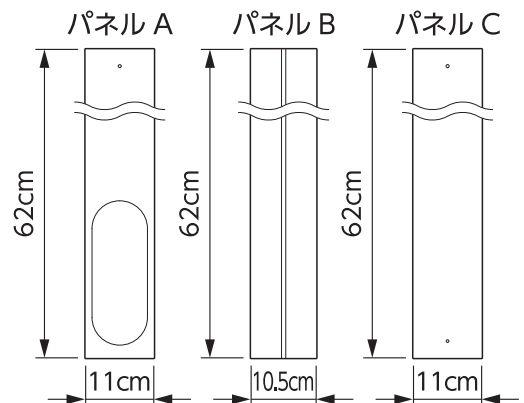
d. パネルAとBで高さが足りない場合は、パネルCを追加します。

a～cと同様の手順で取り付けてください。



設置可能な窓枠高さについて

●パネルの大きさ



●窓枠の高さ89～117cm

⇒パネルA+Bを使用

※窓枠の高さが89cm以下の場合は、パネルBがパネルAの穴を塞いでしまい、ノズルを取り付けることができません。

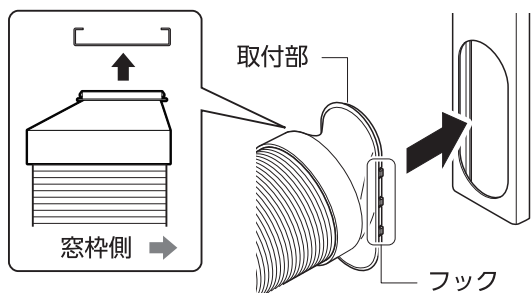
●窓枠の高さ124～173cm

⇒パネルA+B+Cを使用

※パネルCを使用しても118～123cmの窓枠には取り付けることができません。

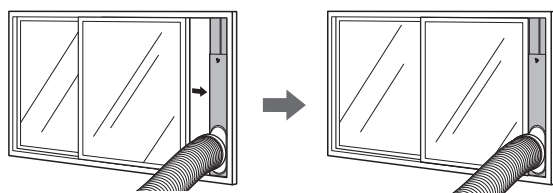
⑥ ノズルをパネルAの穴に取り付けます。

ノズルの取付部を窓枠側に向け、フック(6か所)で固定されるまで押し込んでください。



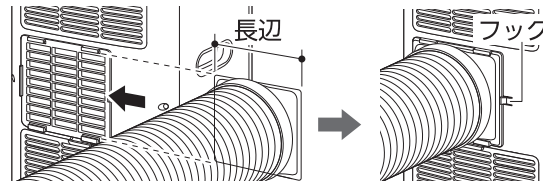
⑦ パネルを窓に取り付けます。

パネルを窓と窓枠の間に挟んで固定します。



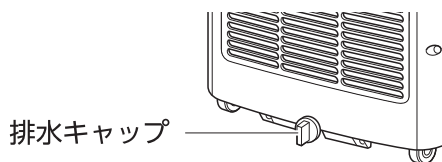
⑧ 排気ホースを排気口に取り付けます。

ジョイントの長辺を上下に向けて差し込み、フックで固定されるまで押し込みます。



⑨ 排水キャップが排水口に取り付けられていることを確認します。

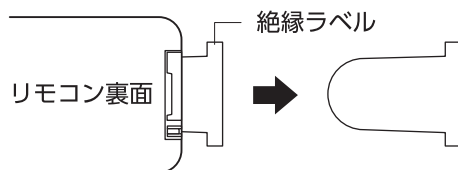
取り付けが不完全な場合、水漏れの原因になります。



リモコンについて

工場出荷の段階でボタン電池が装着されています。ご使用前に絶縁ラベルを引き抜いてください。

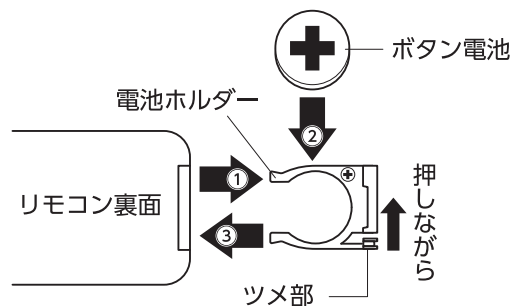
※製品に付属しているボタン電池はテスト用のため、早く消耗する場合があります。



■ ボタン電池の交換方法

使用するボタン電池は「CR2025」です。

- ① リモコン裏面の電池ホルダーのツメ部を、矢印方向に押しながら引き抜きます。
- ② 新しいボタン電池の【+】を上にして装着します。
- ③ 電池ホルダーを「カチッ」と音がするまではめ込みます。

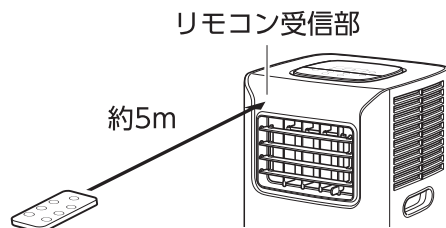


■ 操作範囲

リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて使用してください。操作距離は直線で約5mです。

テレビやオーディオのリモコン等を使用した際、まれに本体が反応して動作することがあります。これは本製品と同じ周波数を利用している機器で起きる現象です。

このような場合は本体に影響しない場所でご使用ください。

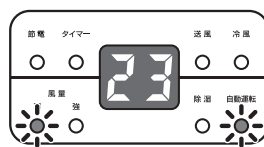
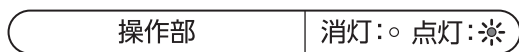
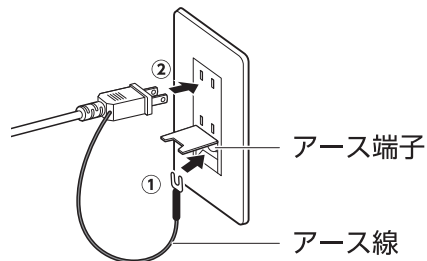


ご使用方法

運転する

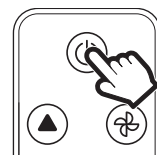
■ 運転のはじめかた

- ① アース線をアース端子に接続します。
アース線は必ず接続してください。
故障や漏電した場合、感電するおそれがあります。
- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。
“ピー”と電子音が鳴ります。
- ③ 操作部またはリモコンの『運転』ボタンを押すと『運転』ランプが点灯し、ディスプレイに本体の周囲温度が表示されて運転を開始します。
初めてお使いになる場合や、電源プラグを差し直した場合は、自動運転モードで運転を開始します。



メモ 運転中に水が流れる音が聞こえることがありますが、内部のドレン水の音であり、異常ではありません。

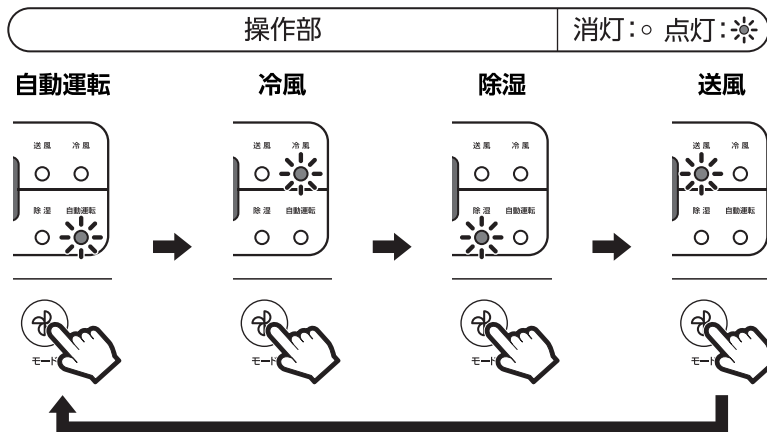
リモコン



運転モードを切り替える

■ 運転モードの切り替えかたと切り替わり順

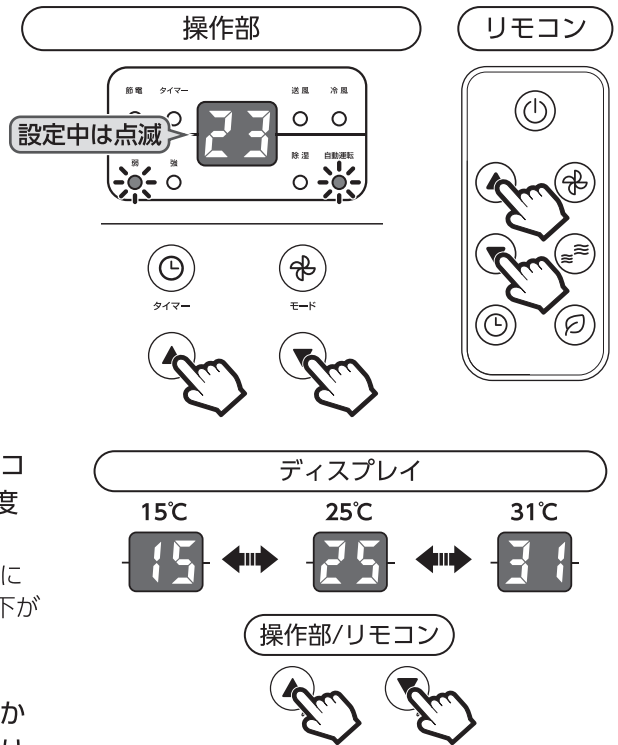
運転中に操作部またはリモコンの『モード』ボタンを押します。
『モード』ボタンを押すたびに下図の順で運転モードが切り替わり、設定にあわせて点灯する運転モードランプも切り替わります。



■ 設定温度の変更のしかた

自動運転モードと冷風モードの設定時に、設定温度を変更できます。

- ① 運転中に操作部またはリモコンの『温度/タイマー設定』ボタンを押すと、ディスプレイが温度設定表示に切り替わり点滅します。
- ② ディスプレイの点滅中に、操作部またはリモコンの『温度/タイマー設定』ボタンを押して温度を設定します。
 - ・『温度/タイマー設定』ボタンは、「▲」を押すたびに1℃単位で上がり、「▼」を押すたびに1℃単位で下がります。
 - ・温度は15℃～31℃の範囲で設定できます。
- ③ ディスプレイが点灯になると、設定温度表示から周囲温度表示に切り替わり、設定完了となります。



■ 各運転モードの動作内容

自動運転モード

設定温度が周囲温度よりも高い場合は冷風運転、設定温度が周囲温度よりも低い場合は送風運転で連続運転します。

注意 運転中に周囲温度が変化しても冷風運転と送風運転は切り替わりません。運転を切り替えたい場合は、設定温度を変更してください。

● 風量の切り替えについて

操作部またはリモコンの『風量』ボタンを押すと、風量を切り替えることができます。

冷風モード

設定温度が周囲温度よりも高い場合は冷風運転、設定温度が周囲温度よりも低い場合は送風運転を自動で切り替えます。

メモ 冷風モード時のみ、節電モードをあわせて設定できます。

ご使用方法

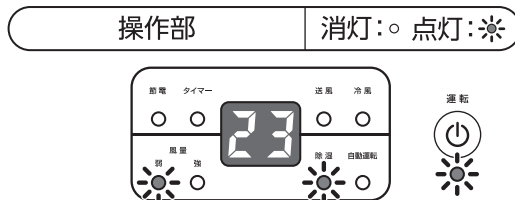
除湿モード

乾燥した風を送り出し、湿度を下げます。

メモ 本体内部の温度センサーが7℃以下を検知すると、霜付き保護のため、8分間除湿運転→6分間送風を繰り返します。

● 風量の切り替えについて

除湿モード時は風量の切り替えができません。

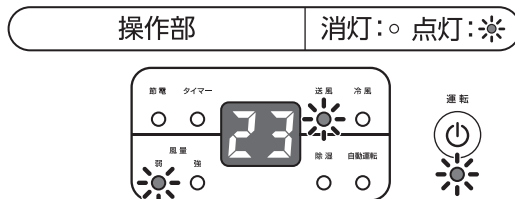


送風モード

設定した風速 (強/弱) で風を送り出します。

● 風量の切り替えについて

操作部またはリモコンの『風量』ボタンを押すと、風量を切り替えることができます。



停止する

■ 停止のしかた

運転中に操作部またはリモコンの『運転』ボタンを押すと、全てのランプとディスプレイの表示が消灯して運転が停止します。

メモリー機能

- 一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。(オフタイマー設定と節電モードは除く)
- 電源プラグを差し直した場合はリセットされます。

機能を設定する

■ 運転モードと機能の組み合わせ

右表の組み合わせで設定ができます。

機能	運転モード	除湿	送風	自動運転	冷風
節電モード		×	×	×	○
オン/オフタイマー		○	○	○	○
風量設定		×	○	○	○

■ 各機能の動作内容

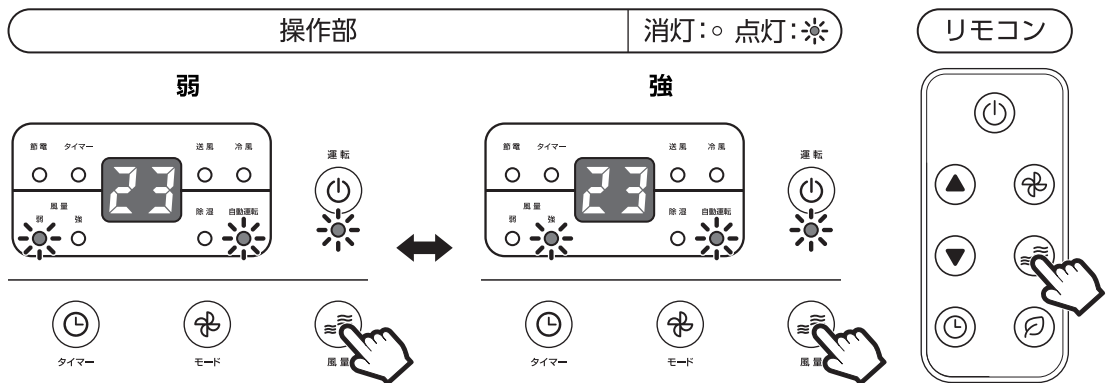
風量設定

風量の「弱」と「強」を設定します。

● 風量の切り替えかた

運転中に操作部またはリモコンの『風量』ボタンを押します。

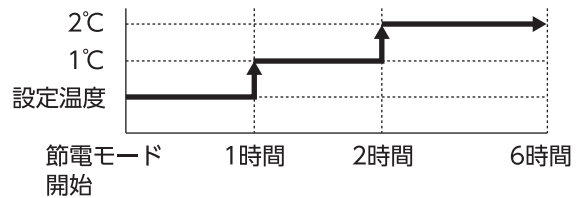
『風量』ボタンを押すたびに「弱」と「強」が切り替わり、設定にあわせて点灯する『風量』ランプも切り替わります。



メモ 除湿モード時は風量の切り替えができません。

節電モード（冷風モード時のみ）

設定温度から1時間後に1℃上昇し、2時間後にさらに1℃上昇して、6時間後に運転を停止します。



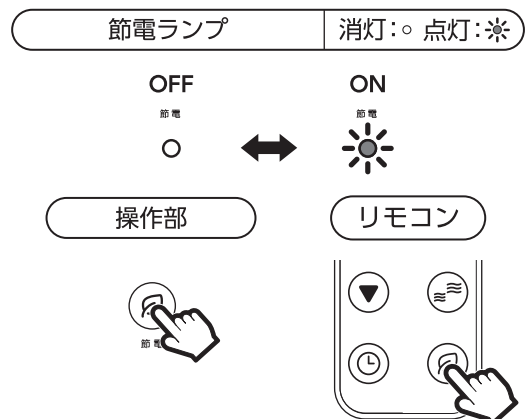
● 節電モードの設定のしかた

冷風モードの設定時に操作部またはリモコンの『節電』ボタンを押すと、『節電』ランプが点灯し『節電』モードが設定されます。

● 節電モードの解除のしかた

もう一度操作部またはリモコンの『節電』ボタンを押すか、『モード』ボタンを押して運転モードを切り替えます。

『節電』ランプが消灯して、『節電』設定が解除されます。



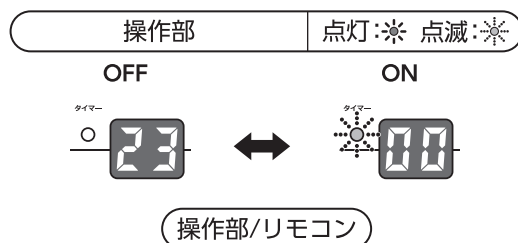
ご使用方法

オフタイマー設定

1～24時間の範囲で1時間ごとに設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を停止します。

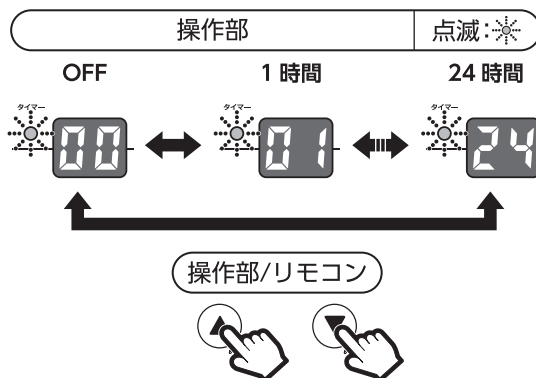
●オフタイマーの設定のしかた

- ① 運転中に操作部またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
ディスプレイが周囲温度表示からタイマー設定表示「00」に切り替わり、『タイマー』ランプが点滅します。



- ② 『タイマー』ランプの点滅中に、操作部またはリモコンの『温度/タイマー設定』ボタンを押して時間を設定します。

『温度/タイマー設定』ボタンは、「▲」を押すたびに1時間単位で増え、「▼」を押すたびに1時間単位で減ります。



- ③ 設定が完了するとディスプレイが周囲温度表示に切り替わり、『タイマー』ランプが点灯します。



●オフタイマーの解除のしかた

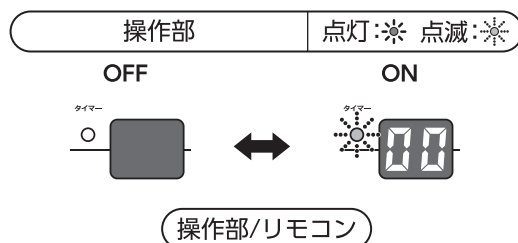
もう一度操作部またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
点滅中にもう一度『タイマー』ボタンを押すか、時間の設定を「00」に合わせて点灯するまで待つと『タイマー』ランプが消灯して、オフタイマーモードが解除されます。

オンタイマー設定

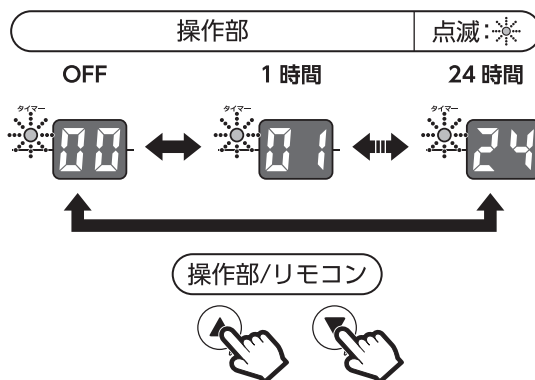
1～24時間の範囲で1時間ごとに設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を開始します。

● オンタイマーの設定のしかた

- ① 電源オフ時に操作部またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
ディスプレイがタイマー設定表示「00」に切り替わり、『タイマー』ランプが点滅します。



- ② 『タイマー』ランプの点滅中に運転モードを選択し、操作部またはリモコンの『温度/タイマー設定』ボタンを押して時間を設定します。
『温度/タイマー設定』ボタンは、「▲」を押すたびに1時間単位で増え、「▼」を押すたびに1時間単位で減ります。



- ③ 設定が完了するとディスプレイの表示が消灯し、『タイマー』ランプが点灯します。



● オンタイマーの解除のしかた

もう一度『タイマー』ボタンを押します。

点滅中にもう一度『タイマー』ボタンを押すか、時間の設定を「00」に合わせて点灯するまで待つと『タイマー』ランプが消灯して、オフタイマーモードが解除されます。『タイマー』ランプが消灯して、オンタイマーモードが解除されます。

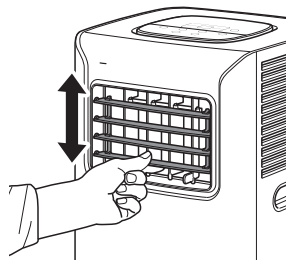
ご使用方法

風向きを調節する

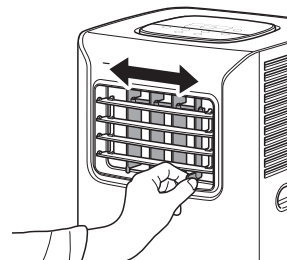
■ 上下方向の調節のしかた

ルーバー（横）を持って上下に動かします。

上下方向の調節



左右方向の調節



■ 左右方向の調節のしかた

ルーバー（縦）のつまミを持って左右に動かします。

排水する

本機はノンドレン機構となっておりますが、湿度が高い環境ではドレン水が溜まりやすくなる場合があります。

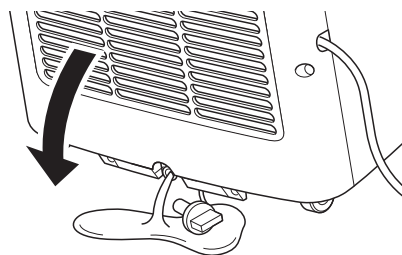
※ノンドレン機構とは運転時のドレン水を内部で蒸発させ排気とともに出す構造です。

水が溜まったり、エラーコード「E4」が表示された場合は、排水キャップを外して排水してください。

■ 排水のしかた

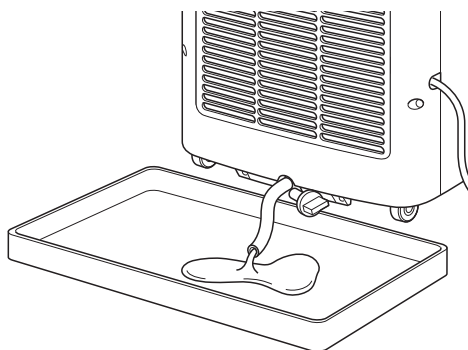
◎排水ホースを使用しない場合

- ① 電源を切って電源プラグをコンセントから抜きます。
- ② 排気ホースを取り外します。
- ③ 水がこぼれないように浴室などの濡れてもよい場所まで本体をゆっくりと移動します。
- ④ 排水キャップを取り外します。
- ⑤ 本体を傾けて排水します。
- ⑥ 排水キャップを取り付けます。



◎排水ホースを使用する場合

- ① 電源を切って電源プラグをコンセントから抜きます。
- ② トレイなどの容器を排水口の下に置きます。
- ③ 排水キャップを取り外します。
- ④ 排水口に排水ホースを取り付けて排水します。
- ⑤ 排水ホースを取り外します。
- ⑤ 排水キャップを取り付けます。



お手入れと保管方法

警告



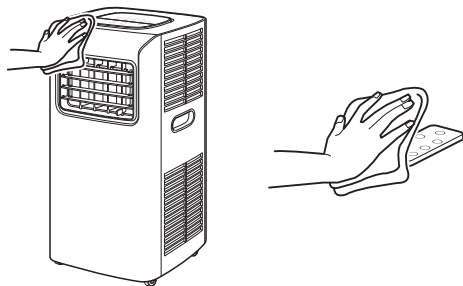
必ず守る

お手入れの際は必ず運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電やケガの原因になります。

■ 本体/リモコンのお手入れ

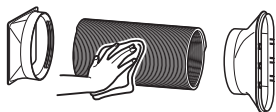
ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤に浸してよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取ります。乾いた柔らかい布で拭いたあと、陰干しをしてしっかりと乾かします。

- お手入れには塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
- リモコンのボタン電池は取り外してください。



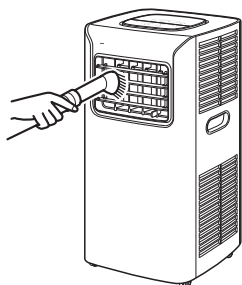
■ 排気ホースのお手入れ

- 本体から取り外して、本体と同じ方法でお手入れをしてください。
- ノズルとジョイントを取り外して、同様にお手入れをしてください。



■ 送風口/通気口/排気口のお手入れ

すき間にたまったホコリは掃除機で吸い取ります。

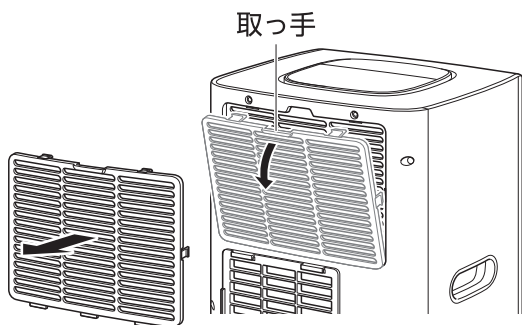


■ 吸気口のお手入れ

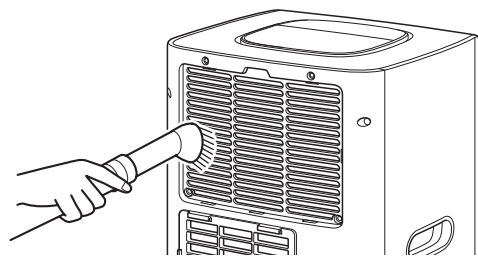
吸気フィルターを取り外してお手入れをします。

※取り外けかたと取り外しかたは(上)(下)とも同じになります。

- ① 吸気フィルター上部の取っ手に指をかけて手前に引きます。

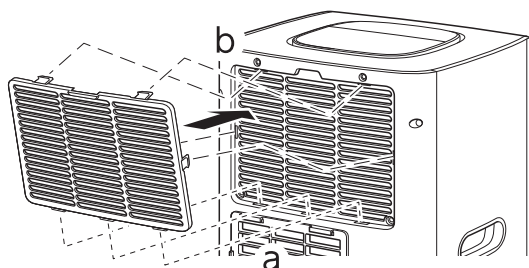


- ② すき間にたまったホコリは掃除機で吸い取ります。



- ③ お手入れのあと、吸気フィルターを本体に取り付けます。

- a. 吸気フィルター下部のツメを取付穴に差し込みます。
- b. 吸気フィルターの上部と両側のフックを取付穴に差し込みます。



■ 本体内部 (タンク) のお手入れ

長期間使用しない場合は、排水をしたあと、送風モードで3～4時間運転して内部を乾かします。

■ 保管方法

- お手入れのあとは各部の水分をよく拭き取り、陰干しをしてしっかりと乾かします。湿ったまま保管すると、カビの発生や故障の原因となります。
- リモコンからボタン電池を抜いて、ボタン電池の電極 (+/-) にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼って保管してください。
- 本体にポリ袋をかぶせ、お買い上げ時の箱などに入れて、直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管してください。

長期使用製品についてのご注意

長期間の使用により下記のような症状が見られた場合は、すぐに電源を切って、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはスリーアップカスタマーサポートにご相談ください。

- スイッチを入れてもファンが回らない。
- ファンが回っても、回転が不規則に変化する。
- 回転するときに異常な音や振動がする。
- モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- 電源コードが折れ曲がったり破損している。
- 電源コードに触れると、電源が切れたり入ったりする。

設計上の標準使用期間

製品本体に表示してある【設計上の標準使用期間】は右記に示す標準的な使用条件の下で使用した場合に安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。製造年は本体ラベルに記載しています。

製品の故障や劣化は、この条件以外でもさまざまな要因に影響を受けます。標準使用期間に達しない場合でも、上記のような異常がみられた場合にはすぐにご使用をやめ、販売店もしくは「スリーアップカスタマーサポート」にご相談ください。また、「設計上の標準使用期間」は「保証期間」とは違い、本製品の無償修理を保証する期間ではありません。保証内容および期間につきましては本書に添付の「保証書」に記載しています。

環境条件	電源電圧	単相100V
	周波数	50/60Hz
	冷房室内温度	27℃ (乾球温度)
	冷房室内湿度	47% (湿球温度19℃)
	冷房室外温度	35℃ (乾球温度)
	冷房室外湿度	40% (湿球温度24℃)
設置条件	設置条件	本書に基づく設置
	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
負荷条件	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋 (畳数)
	想定時間	1年間の使用日数
1日の使用時間		冷房：9時間/日
1年間の使用時間		冷房：1008時間/年



【設計上の標準使用期間】 4年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・ケガ等の事故に至るおそれがあります。

製品の廃棄について

製品の廃棄の方法については、各地方自治体の指導に従ってください。




故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目の確認をお願いします。

症状	考えられる原因	対処方法
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがはずれている。 『運転』ボタンを押していない。 リモコンのボタン電池の残量が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに接続してください。 『運転』ボタンを押して運転を開始してください。 製品に付属しているボタン電池はテスト用のため、早く消耗する場合があります。新しいボタン電池に交換してください。
運転が停止した	<ul style="list-style-type: none"> オフタイマーが作動して停止した。 冷風モード時に節電モード設定がされていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きご使用になる場合は、『運転』ボタンを押してください。 節電モード設定を開始してから6時間後に運転が停止します。
運転モードが切り替わった	<ul style="list-style-type: none"> 冷風モードで運転している。 自動保護機能が働いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 冷風モードで運転している場合は、本体の周囲温度や設定温度により、運転モードが切り替わります。 冷風モードと除湿モード時は、特定の環境になると自動保護機能が働きます。自動保護機能の詳細は、P.6「知っておいていただきたいこと」をご確認ください。
運転音が大きい	<ul style="list-style-type: none"> 不安定な場所に設置している。 送風口、吸気口などにホコリがたまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 水平で安定した場所に設置してください。 お手入れをしてホコリを取り除いてください。
運転するが涼しくならない	<ul style="list-style-type: none"> 送風口、吸気口などにホコリがたまっている。 排気ホースが取り付けられていない。 冷風モードの設定温度が本体の周囲温度よりも高い。 	<ul style="list-style-type: none"> お手入れをしてホコリを取り除いてください。 排気ホースを取り付けて、室外に熱を排出してください。 設定温度を本体の周囲温度よりも低く設定してください。
本体から水が漏れる	<ul style="list-style-type: none"> 本体が傾いて設置されている。 本体が傾いて状態で移動した。 排水キャップが外れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 水平で安定した場所に設置してください。 本体を移動する際は、傾かないように慎重に移動してください。 排水キャップをしっかりと取り付けてください。
冷風が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 圧縮機が停止している。 	<ul style="list-style-type: none"> 圧縮機が「ON」から「OFF」へ切り替わったあとは、すぐに圧縮機が「ON」にならない場合があります。圧縮機が動くまで約3分程お待ちください。

■ エラー表示について

エラー発生時はディスプレイに下記のエラーコードが表示されます。

エラーコード	エラーの内容	対処方法
	温度センサーが故障した。	直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。 修理が必要なため、お買い上げの販売店またはスリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。
	水位センサーが故障した。	
	タンクが満水になった。	排水してください。

※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。